



指宿風土記

翼 異 広 げ て



開聞岳編



山川港編



池田湖編



知林ヶ島編

映像につきましては、多くの取材や、学識経験者のご意見をもとにしています。時間の推移による新事実の発見や、研究者間、地域間、個人間の意見の差異により内容が一部異なる場合がございます。現在の時点で可能な限り、頂いたご意見をもとに制作しましたが、CG(コンピュータグラフィックス)による表現等、イメージを優先している場合もあることをご了承ください。

主催 / 指宿まるごと博物館 構想推進実行委員会

時遊館COCCOはしむれ / (社) 指宿市観光協会 / 指宿市立図書館 / 指宿市役所 / (社) 指宿青年会議所 / 指宿ムービープロジェクト実行委員会 / はしむれ友の会



指宿まるごと博物館

「指宿まるごと博物館」とは、指宿市全体を博物館ととらえ、市域にある文化財、自然、産業、施設、郷土芸能、伝統技術、伝統行事、イベントなどの全てを貴重な「展示品」と位置づけて、それらをまちづくりに活かしていく考え方や実践のことであります。

私たち指宿ムービープロジェクトは「指宿まるごと博物館」を広めていくため、今回、開聞岳、池田湖、知林ヶ島、山川港の4つのポイントに焦点をあて、それぞれの自然の魅力、歴史、そこから生まれた文化について、映像を通して世界に発信する取り組みにチャレンジしました。

映像は、ヘリコプターでの空撮、CG、イラスト、レポーターによる紹介やインタビュー、ミニドラマで構成されています。自然の成り立ちについては、専門家の協力を得て、科学的な面からも検証を行いました。歴史や文化を紹介する場面では、地域の方々の貴重なお話を映像に盛り込みました。

このパンフレットは、映像化したポイントの解説と制作に関わるエピソードを掲載したものです。「指宿風土記-翼広げて-」が、指宿再発見のきっかけとなり、また、未来へと続く「記録遺産」として、郷土教育や観光振興の一助となれば、こんなに嬉しいことはありません。

今回の映像制作にあたり、指宿市内外のたくさんの皆さんに御協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

指宿ムービープロジェクト

指宿まるごと博物館構想推進実行委員会 平成23年度の活動

時遊館COCCOはしむれ

企画展「新聞でたどる近代史」

～黒船来航からアポロまで～

幕末のかわら版から明治・大正・昭和の新聞資料約200点を展示。鹿児島・指宿の歴史を紐解く企画展を開催しました。



(社)指宿市観光協会

指宿まるごと博物館ガイド育成事業

指宿市内の自然や歴史を分かりやすく案内するガイドさんは、指宿まるごと博物館の推進役。そうしたガイドさんの研修会を開催しました。



指宿市立図書館

「ふるさとの伝承/昔話」を紙芝居に

ふるさとの昔話3話を紙芝居に。市内の保育園・幼稚園・小学校にお配りしたほか、デジタル紙芝居としてインターネットでも公開しています。



指宿ムービープロジェクト

指宿風土記「翼広げて」

指宿市内外からのべ100人を超える皆さんが映像制作に携わっていただきました。映像はインターネットでも配信します。



指宿市役所 (市長公室・観光課)

指宿まるごと博物館ホームページ作成

文化財、自然、郷土芸能など、指宿の見どころ満載のホームページを作成しました。伝統行事やイベント、産業など随時新しい情報を発信していきます。



(社)指宿青年会議所

指宿いにしえ絵巻の作成

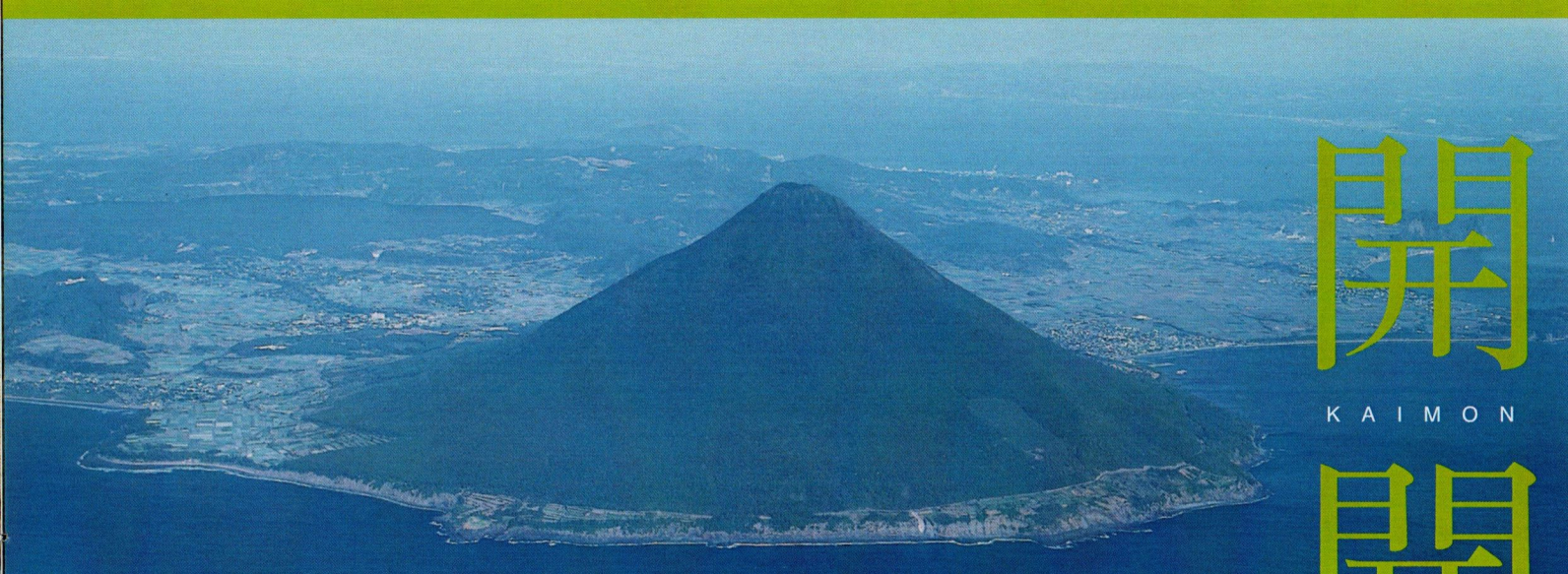
指宿の昔話を巻絵に描く作品コンクール

地元の語り部が話す昔話。その物語を、子どもたちが絵に描きおこしました。巻物風に仕上げた4つの昔話は、指宿の観光PRにも活用されています。



開 聞

K A I M O N



噴火で逃げまどう人々

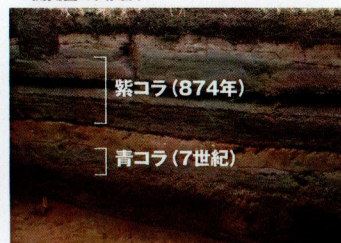
西暦874年3月25日(貞観16年)の夜に開聞岳が噴火したことが古文書の記録や発掘調査でわかっています。

私たちは、映像を作る際に、今と同じように生活していたかも知れない、ある家族をとおして、開聞岳噴火の恐怖を再現してみました。冒頭のこのお話はもちろん想像ですが、橋牟礼川遺跡では、火山灰の下から壊れた家の跡や食器、畑の跡などが見つかっていて、当時の様子を知ることができます。

開聞岳は約3700年前、縄文時代の後期に噴火を始めてから今まで12回の噴火が確認されています。その昔、開聞岳は開聞神と表記され、噴火は開聞神の祟りと信じられていました。開聞神は開聞岳をご神体とし、枚聞神社が祀っていました。



▼開聞岳の火山灰



噴火した時代で、火山灰(コラ)の色が異なっている特徴があります。



開聞岳から5kmしか離れていない山川の慶固遺跡では厚い火山灰にまるでパッキングされたようになって畑の畝の跡が出てきました。火山灰はまるでタイムマシンで運んでくれたかのように、当時の暮らしを鮮やかに私たちに知らせてくれます。

開聞岳の噴火では、溶岩も流れだしました。開聞地区の花瀬海岸では、流動性に富んだ溶岩が開聞岳から沖へ向かって流れ出し、冷えて固まるまで、うねうねと曲がったり、縄状にねじれたりして、ユニークな自然の地形を形成しました。

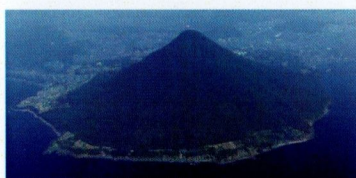
▼花瀬海岸



開聞岳は富士山とよく似た形をしています。山頂部分は西暦885年(仁和元年)の噴火で形成されたもので、874年の噴火で頂上が発火して陥没した跡に新しい溶岩が噴出したものです。

開聞岳の美しさは、四季の移り変わり、朝夕の光の具合で変化し、人々を感動させてくれます。開聞岳は著名な作家兼登山家である深田久弥が書いた山岳随筆「日本百名山」にも登場します。標高1500m以上の山と言う基準を設けたにも関わらず、924mの開聞岳を選んだのはその美しさからだと言われています。

薩摩藩への琉球使節の派遣は1613年(慶長18年)に始まり、1784年(寛永11年)以降は毎年行われたと言われています。薩摩一宮である枚聞神社には7枚の琉球扇額が奉納されています。枚聞神社の扇額は、使節団がまず山川港に入り、枚聞神社を参詣した後、鹿児島城下に向かった事を示す貴重な歴史資料です。



開聞岳は、海上救護の神として信仰されるとともに、南方から薩摩半島を目指して航行してきた船にとって、海上交通の目印でもありました。

その美しい姿は私たちを優しく癒してくれます。昔からたくさんの神話や昔話に語られ、登山ファンに愛されてきた、私たちの敬愛する山でもあります。

山川

YAMAGAWA

山川港は古くから日本の南方に向けて開いた国際貿易港として賑わいました。奥行き約2km、幅約700m、湾曲した入り江の深さは一番深いところで約50m、湾内は砂嘴(さし)と言う鳥のくちばしのような部分で外の海と区切られています。そのため天候が荒れた時にも山川湾の中は穏やかで、大型船も安全に停泊できる天然の良港として知られ、江戸時代には琉球貿易を担う藩の港として薩摩の経済を支えました。



海外貿易で栄えていた琉球王国に、1609年、島津氏が出兵し、薩摩藩の管理下におきました。島津は異国を支配している事を誇示するため使節団を琉球から派遣させ、中国風の呼称、装束を義務づけました。その時の様子を見ていた民衆が影響を受けて踊り始めたのが琉球傘踊りと言われていました。



琉球傘踊り

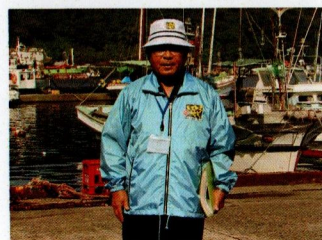
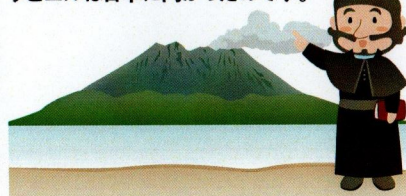
サツマイモは江戸時代、前田利右衛門によって琉球から薩摩に持ち込まれ、利右衛門が村人たちに栽培方法を教えたことにより、飢えでなくなる人が激減したと伝えられています。その功績に感謝し建てられたのがこの徳光神社です。



徳光神社



山川は近代日本を初めて世界に知らせた港でもあります。1546年には、アルバレス(ポルトガル人)が山川に滞在し、西欧人による日本発見の書とされる「日本報告」に山川の様子を記録しました。その報告を受けて、アルバレスの友人ザビエルは日本に向かったのです。



「いっどいっが山川港の会」のまち歩きガイドのみなさんに山川のまちを案内して頂きました。今回は石敢堂、山川石、山川地頭仮屋跡石塚、利右衛門さんやアルバレスたちが上陸したと言われている港、活お海道等を紹介して頂きます。

山川港は鰹節で有名ですが、それは遠洋漁業の基地として使われ始めた明治43年頃から始まりました。現在では、枕崎市と並び全国シェアを大きく占めています。



鰹節の天日干し

様々なドラマを生んだ山川湾は火山活動によって誕生しました。山川湾はマールと呼ばれる地形で、火山が爆発・陥没し、海水が流れ込み、現在の形になりました。地熱発電所や砂むし温泉からわかるように、海底火山の爆発によって出来た山川湾とその大地は今もそのエネルギー秘めています。



池

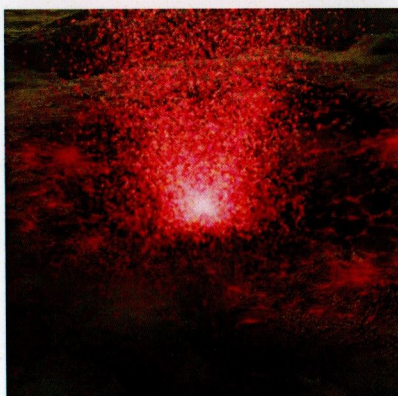
I K E D A K O

田

湖



幻の怪獣イッシーが棲むと言う伝説の湖、池田湖。古くは池の主がいるとの言い伝えも残っています。映像では地元の小学生、エリちゃんとリョウ君がイッシーの謎について調べるところから始まり、次第に池田湖の成り立ちや、自然について理解して行きます。この2人の力を借りてお話を進めていきましょう。



東西4.5km、南北3.5km、周囲15km、池田湖は九州で一番大きな湖で、水深は最も深い所で水深233m、日本で4番目に深い湖です。池田湖もまた火山噴火によってできました。成り立ちは約6000年前の火山活動から始まりますが、いくつかの火山が噴火し地下のマグマが抜けて大きな穴が開き、そこに地下水が入り込み今の池田湖になりました。その様子をCGで再現しました。



エリちゃんとリョウくんは調べているうちにイッシーのような恐竜がいた時代と池田湖が誕生した時代が違う事に気づきます。また、2人は、おばあちゃんから、イッシーに関連する池田湖の主の昔話を聞きますが、そのお話は地元有志が熟演するドラマでお楽しみ下さい。

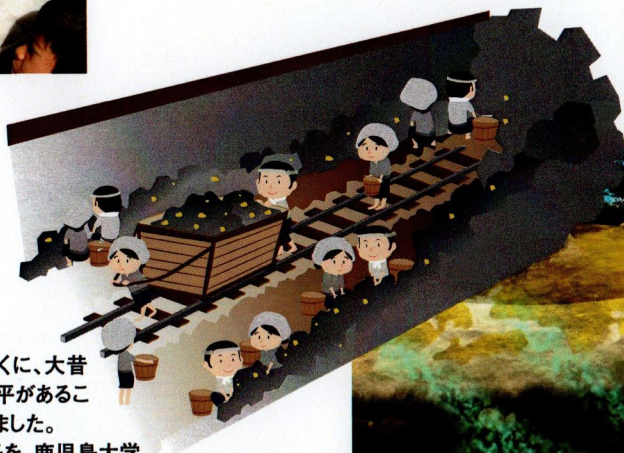


▲坑道入口跡



▲大木教授

2人はお父さんが勤めている焼酎工場の近くに、大昔の阿多カルデラの噴火で形成された、鬼門平があることを知ります。鬼門平にはかつて金山がありました。ここでは、金鉱脈が火山活動で作られる様子を、鹿児島大学の大木公彦教授に出演して頂きながら、CGでわかりやすく紹介しています。明治から昭和にかけて鬼門平近辺ではゴールドラッシュがありました。多くの人が賑わい、今もその名残を残す施設跡が残っています。



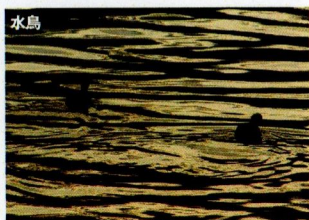
鬼門平



金鉱脈の仕組み



大うなぎ



水鳥

池田湖は指宿市の水がめとしても大切な湖です。また池田湖には多くの種類の生物がいることから、お父さんは2人に池田湖の水や自然は金より大事なもので、守って行かなければならないと教えてくれます。

知

CHIRINGASHIMA

林

ヶ島



知林ヶ島は、東シナ海から鹿児島湾内に流入してくる温暖な黒潮の流れと、鹿児島湾内を流れて東シナ海に向かう少し冷たい流れの、ちょうど境目に位置しています。そのため、それらの海流がぶつかりあった境目に、砂と小石が積み積もって、引き潮の時には約800mの砂の道が現れます。

この道が、消えても消えても、また現れる所から、この道を渡ると、別れてもまた再会できる愛の道だとも言われ、恋人や家族たちが渡る姿が見られます。



主人公の母と娘。母の名前はミドリ、娘の名前はサキです。2人は、貝殻採集のために知林ヶ島に渡ります。散策する中で、島の自然や歴史について語る2人。対岸に見える魚見岳の天狗伝説も取り入れながら映像を制作しました。

ちちりのしま、 聖の御房に譲奉る

ひじり おんぼう ゆずりたてまつ

指宿氏初代平忠光(たいらのただみつ)の三男忠季(ただすえ)が、密教系の僧侶と思われる、出羽聖房(ではひじりのぼう)に送った、鎌倉時代(1217年)の譲状案に初めて知林ヶ島の名前が登場します。ちちりとは松かさのことで、松かさがたくさんある島と言うことからそう呼ばれたとも伝えられます。



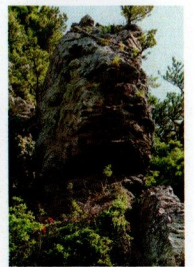
最近、知林ヶ島の渡り口に置かれた[Chi貝]は絵馬のように貝殻に想いを込めて祈願するものです。

▼魚見岳の天狗岩

みんなで遊びに来ていた小さなミドリちゃんが迷子になって泣いていると、どこからか天狗が飛んで来て助けてくれた、と言うシーンです。



ドラマのシーン



航空写真と船から撮影した映像で知林ヶ島の全景と、周囲の様子を紹介します。

その昔、漁師たちが頂上から魚影を確かめたとされる魚見岳。標高約200m、南東側は断崖絶壁で山の形を作っている溶岩と、それを覆う火砕岩が表面に見えています。魚見岳の下の方は赤紫色(あかむらさきいろ)の石英安山岩で、流理構造と呼ばれるはっきりした流れ模様を観察することができます。



チリンズベル。展望台上から景色を眺めて、小島の話をする2人。ここで普段はなかなか見れない小島の様子を映像にしています。ダイバーの撮影で珊瑚礁まで見る事が出来ます。休暇村指宿沖には、太平洋戦争当時、田良浜にあった航空機の残骸が沈んでいます。

出演

ナレーション

開聞編 廣田直敬
(NHK鹿児島放送局)

山川編 佐藤友紀
(Goggle Inc)

池田湖編 大山大輔
知林ヶ島・魚見編 中村栄子

キャスト 山崎 さおり
中村 友美
濱崎 梨沙
森 定儀
東中川 忠幸
幸野 昌広
根来 由香里
根来 実央

いっど、いっが、山川港の会

伊佐 剛郎
馬場 幸男
田中 誠一
今村 美幸
貴島 珠代
下園 和代

近道 ミチ子
前田 テル子
永吉 欣一

堂園 昌由
堂園 宏美
西川路 友美
西川路 瑠璃華
田原 秀博
井元 勇蔵
山下 智嗣
岩切 すえ子
猿渡 功
猿渡 絵理
猿渡 諒

中島 美香
中島 佳鈴
中村 納乃結
中村 まゆみ
森 節代
篠原 直美
篠原 美夏
倉伯 健人

上村 美和
川下 華奈
勢野 利明
田中 凌将

山崎 裕真
浜崎 由貴乃
西元 陽一
西元 志農夫
西元 博徳
新村 信博
西 寅象
岩崎 亥三郎
守山 雄二
小吉 重徳
中島 幸夫

大木 公彦
(鹿児島大学総合研究博物館館長)

松下 尚明
(鹿児島国際大学非常勤講師)
(順不同)

指宿市立
丹波小学校のみなさん

指宿市立
利永小学校のみなさん

利永 琉球傘踊り保存会
のみなさん

スタッフ

脚本/監督 下川路 慶和
坂本 楓

音楽 坂本 楓

撮影 前之園 透
樋園 隆洋

音声 中村 睦夫
迫村 美雪

美術 大津 健次
ヘア&メイク 上高原 艶子
(木星美容室)

撮影助手 帖佐 弘美
帖佐 春菜
宮田 真希
安田 豊
中坂 麻衣
渡邊 隆之
堀 由紀子

制作統括 下川路 慶和

テーマ音楽「翼広げて」
歌 大山大輔
作詞/作曲 下川路慶和

エンディング「受け継がれること」
作曲 坂本 楓

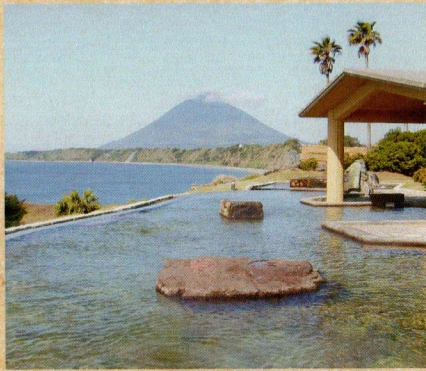
協力

鹿児島県
指宿市
(社)指宿市観光協会
国土交通省 九州整備局 大隅河川国道事務局
霧島ジオパーク推進連絡協議会
指宿市教育委員会
鹿児島県立指宿高等学校
指宿市立開聞中学校
指宿市立指宿小学校
指宿市立魚見小学校
指宿市立柳田小学校
指宿市立丹波小学校
指宿市立今和泉小学校
指宿市立池田小学校
指宿市立山川小学校
指宿市立大成小学校
指宿市立徳光小学校
指宿市立利永小学校
指宿市立開聞小学校
指宿市立川尻小学校
NHK鹿児島放送局
Goggle Inc
枚聞神社
揖宿神社
九州旅客鉄道株式会社 鹿児島支社
かいもん山麓ふれあい公園
いぶすき山川港特産市場活お海道
山川町漁業協同組合
指宿酒造株式会社
社会福祉法人 清志会 開聞保育園
国立大学法人 鹿児島大学
レイクグリーンパークえぶろんはうす池田
(有)アイオイ・プロフォート
鹿児島国際航空株式会社
(株)イースト朝日
いっど、いっが、山川港の会
開聞岳ガイドクラブ
第一交通株式会社
ブルーウォーターダイビング
大山まりピアノ教室
砂むし会館「砂楽」
シネシティ文化
studio DOG
Chimpanzee Studio
アクターズファクトリー鹿児島
井元 伸明
井元 俊文

火山銀座 指宿



火山の恩恵に浴している指宿



露天風呂



ス メ



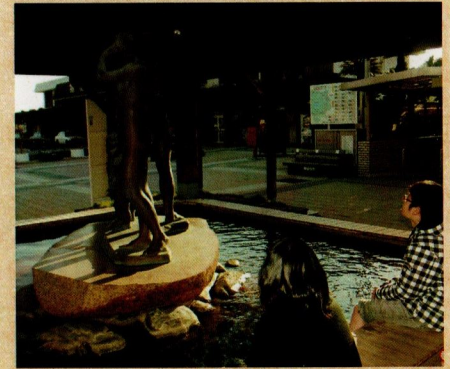
湯之峯神社裏のスメ



指宿 砂むし温泉



山川 砂むし温泉



各地温泉